



チームしが 県議団

滋賀県議会議員

田中松太郎

県政レポート

2018年4月 Vol.12

田中松太郎 事務所 甲賀市水口町北脇436-1 TEL.0748-63-5340/FAX.0748-63-5341

田中松太郎 検索

第72回全国植樹祭開催候補地 「鹿深 夢の森」に決定!!



鹿深 夢の森写真※甲賀市提供

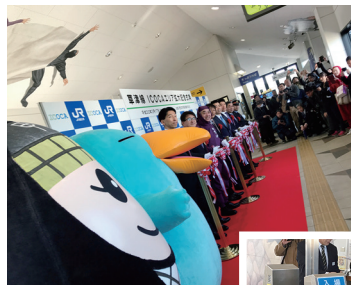
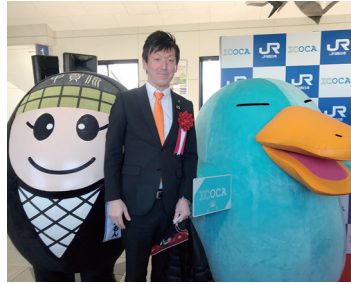
2021年春に滋賀県で開催が内定している「第72回全国植樹祭」について、県準備委員会は3月1日、メイン会場を甲賀市甲賀町大久保の「鹿深(かふか)夢の森」に決定しました。

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために行なう国土緑化運動の中心的行事で、天皇皇后両陛下のお手植え・お手播きをはじめ、県内外から多くの参加者のもとで記念植樹や表彰行事などが行なわれます。

県内での開催は、昭和50年に「第26回全国植樹祭」として栗東市の金勝山(現・滋賀日産リーフの森(県民の森))をメイン会場に開催されて以来、46年ぶり2回目の開催となります。

今回は県内11カ所が候補地となり、十分な駐車場を備えるなど設備面でも優れていた鹿深夢の森が選ばれました。

今後は、主催者の公益社団法人国土緑化推進機構と協議し、秋頃に正式決定される予定です。



JR草津線の甲南・柘植の五駅で、ICカード乗車券の利用サービスが始まり、県内のJR西日本全駅でICCOCAなどの交通系ICカードが使えるようになり、甲賀駅で開かれたエリア拡大記念式典に来賓として出席してまいりました。式典には、三日月大造知事も出席、JR西日本の小菅謙一・京都支社副社長や甲賀市長・伊賀市長が、祝辞を述べられました。

式典後、ICカードを使って甲賀駅に入場し、柘植行きのラッピング列車「SHINOBI TRAIN」に乗り、柘植駅でもイベントが行われました。

また、JR甲賀駅北口ロータリーでは、こうか駅前マルシェによりICCOCAエリア拡大記念として和太鼓演奏などのステージや、つくたてお餅の振る舞いなどのイベントが行われました。

平成30年
3月17日土

ICCOCA利用エリア拡大

甲南駅、寺庄駅、甲賀駅、油日駅、柘植駅
で利用できるようになりました!!

当初予算のポイント ～「健康しが」予算～

【人の健康】

1. 健康で拓く滋賀の未来

県民が健康で豊かさを享受して生活を送ることができるよう、県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀を実現

【自然の健康】

2. 琵琶湖を「守る」「活かす」「支える」

琵琶湖や自然環境、森林等を「守る」施策と、琵琶湖や周辺環境のもつ価値を活かした産業や観光などの「活かす」施策の好循環、さらには調査研究や環境学習などの「支える」施策により、環境保全と経済成長の持続的循環を実現

【社会の健康】

3. ICTおよびデータの活用によるイノベーションの創出

ICTおよびデータを積極的に活用し、地域・産業の再創造など、イノベーションを創出

4. 県民の暮らしを支える安全・安心の確保

県民の暮らしや経済を支える道路交通ネットワークの整備や、大雨による洪水被害の軽減をはじめとする防災減災対策を充実、特殊詐欺対策などの防犯対策などを強化し、安全・安心を確保

SDGsを活用した持続可能な滋賀づくり

SDGsの普及に加え、滋賀の持つ強みを活かし、伸ばすことで国内外のモデルとなる持続可能な地域の実践的取組を創出

地域の中小企業の活躍・発展および円滑な事業承継への支援の充実を求める意見書(案)

中小企業が正社員雇用を増やすために必要な施策を実施すること、中小企業の資金繰り支援策を充実させること、中小企業の育成や発展、雇用の維持や拡大に悪影響を与える外形標準課税の中小企業への拡大は行わないことなど、競争力の高い中小企業や創業間もない企業などの活躍・発展および中小企業の円滑な事業承継への支援の一層の充実に向けて取り組むことを政府に求めました。

2月定例会議
チームしが 県議団
提出の意見書(案)、
全会一致で可決!

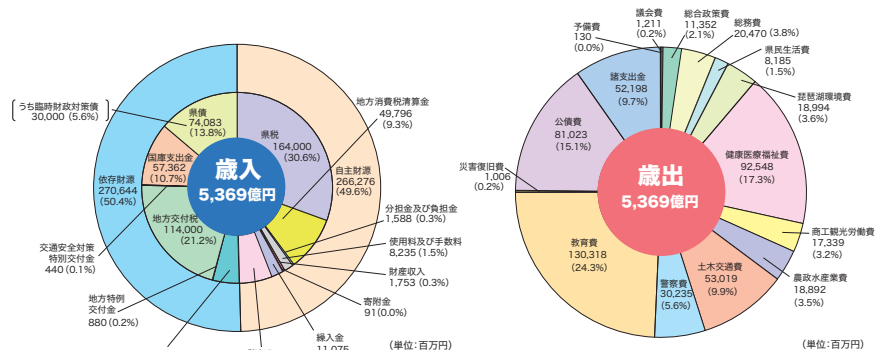
平成30年度 当初予算

平成30年度当初予算編成の特徴 ～琵琶湖新時代に向けて～

平成30年度は、「基本構想」と「行政経営方針」の計画期間の最終年度にあたり、これらの総仕上げに向け、具体的な成果につなげていく重要な年度です。「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向けて、国や市町と連携し、「新しい豊かさ」を具現化すべく、全庁をあげて取組を進めること、また、持続可能な財政基盤の確立に向けて、平成29年6月に公表した「今後の財政運営の基本的な考え方」に基づく取組の初年度として中長期的な観点から財政健全化の取組を着実に進めることを基本方針としています。

平成30年度当初予算は、予算規模としては5369億円、前年度と比べると26億円、0.5%の増額予算となりました。

編成方針としては、①若者の希望を叶える社会づくり②新たな価値の創造・発信③だれもが健康で、活躍する社会づくり④琵琶湖や山と人々の暮らしのつながりの再生という4つの視点に重点を置いた戦略的な施策構築、SDGsの視点に基づく施策構築、加えて財政健全化の推進の3点をポイントとして各種施策を展開し、取り組むこととなりました。



■ 当初予算の規模

	予算額	対前年度当初予算比	
		金額	比率
一般会計	5,369億円	+26億円	+0.5%
特別会計(※1)	2,758億円	+1,092億円	+65.6%
企業会計(※2)	726億円	▲30億円	▲4.0%

※1. 平成30年度から国民健康保険事業特別会計を新設しています。
※2. 企業会計は、収益的支出および資本的支出の合計を示しています。

会派県外視察調査



◆日本理化学工業株式会社(神奈川県川崎市)
障がい者の多数雇用に取り組まれている企業を調査

1月
30日



1月
31日



◆東京都盲ろう者支援センター(東京都台東区) 視覚と聴覚にハンディキャップのある方の現状とセンターの支援事業について調査



◆篠本新井地区(千葉県横芝光町) スマート農業について現地調査

